

学業成績評価基準及び GPA 制度

(1) 成績の評価

成績は、S、A、B、C、D（C以上が合格、Dは不合格）をもって評価されます。

合否	評価	素点	評価の基準	成績証明書の表示	
合格	S (秀)	—	特に優秀な成績	S	
	A (優)	80~100	—	A	
	B (良)	70~79	—	B	
	C (可)	60~69	—	C	
不合格	D (不可)	0~59	不可	表示されない	
		R	0		出席不足
		J	0		受験せず
保留	W	0	成績保留		

成績評価について質疑がある場合は、受付期間内（成績交付後 7 日間以内）に教務課で所定の用紙を受け取り、必要事項を記入の上、教務課に提出してください。後に掲示・メール配信等で呼出し、回答を伝えます。受付期間を過ぎた場合は、一切受け付けません。

(2) 成績発表の方法

前期成績表および後期成績表は、学生ポータルサイト「メソフィア」に掲載しますので、必ず確認をしてください。ただし、試験期間など確認できない期間があります。詳細はオリエンテーションや掲示板で連絡します。

なお、前期、後期ともに成績表を保証人（保護者）宛に送付します。

(3) GPA制度（成績総合評価）

学業成績は年次毎に総合評価のポイントで表します。この数値を Grade Point Average = GPA といいます。各科目の成績は次のようにポイント化します。

成績評価記号	ポイント数
S (秀)	4
A (優)	3
B (良)	2
C (可)	1
D (不可)	0
	J

各科目のポイントにその単位数を乗じた値の合計を、履修登録した単位数の合計で除し、総合評価ポイントとします。

$$\text{GPA} = (\text{各科目のポイント} \times \text{各科目の単位数}) \div \text{履修登録の総単位数}$$

※不合格科目（D）を再履修し合格した場合は、それ以前の評価に代わり、最新の評価をGPAに算入します。ただし、過去に交付した成績表のGPAについては、遡って修正することはありません。

※教職課程の科目及び卒業要件外の科目はGPAの対象外となります。

（４） GPAの取り扱い

GPAのポイントが上位の学生は、特別に表彰されることがあります。GPAのポイントが一定以下の場合、担当教員との面談や学修相談を行います。また、特待生の継続審査の際には、GPAにより成績評価をします。

（５） 上野賞・赤羽賞

成績優秀にして他の模範となる学生に対しては、卒業時に上野賞および赤羽賞が授与されます。（各学科1名程度）

上野賞：在学中に国家試験合格者、ならびに、国家試験レベルの試験に合格した者

赤羽賞：GPAの上位で、なおかつ、総取得単位数の多い者

（６） 成績優秀賞

毎年度末、各学科、各学年において1名の成績優秀者を表彰します。GPA及び修得単位数などにより総合的に審査します。表彰者に対しては次年度の授業料の一部を減免します。ただし、他の授業料減免制度の有資格者が該当者になった場合は、表彰のみとし、減免の対象にはなりません。